

平成27年度

予算審査

DIGEST

平成27年度の一般会計当初予算を可決したほか5件の特別会計、6件の企業会計の当初予算を可決しました。

一般会計当初予算の概要

平成27年度の一般会計当初予算の規模は356億円で、前年度と比較してマイナス5.2%、19億5,000万円の減となっております。

子ども医療費助成事業や高齢者ふれあいバス社会実験事業などの「子育て支援の充実と高齢者に優しいまちづくり」、中心市街地複合ビル整備事業や市民交流プラザ運営事業などの「地域資源を活かしたにぎわいのまちづくり」、新幹線新大村駅（仮称）周辺整備事業や国道34号等整備促進事業などの「快適で住みやすいまちづくり」、新工業団地整備事業や東浦地区漁礁・増殖場整備事業などの「次世代へと続く力強い産業づくり」、新「大村

市立図書館一建設事業や官民連携型国際交流事業などの「未来へ飛躍する人材の育成」の5項目について、重点的に予算を配分しているほか、総額約10億1,300万円の新規事業が実施されます。

議員からの質疑・意見

当初予算の審査における議員からの主な質疑、意見は次のとおりです。

□市長公室

中心市街地複合ビル整備事業において、2力年で建物を改修する理由について質問し、市側からは、「財源の問題があり、平成27年度に1、2階部分や高圧受電設備など全体的なものを改修し、3階部分については、次年度に改修するが、財源確保のため、地方創生に係る交付金を何とか活用できるように努力する。」との答弁がありました。

□総務部

ふるさとづくり基金事業において、寄附者は値段が異なる商品からどのようにしてお礼の品を選ぶのか質問し、市側からは、「様々な値段の商品に柔軟に対応できるように、寄附額に応じたポイント制の採用を考えている。」との答弁があ

りました。

□財政部

地籍調査事業の完了時期と、前年度と比べ事業費を減額していることについて質問し、市側からは、「調査面積はほとんど変わっていないが、平成27年度は山間部の調査となり、一筆が広がるなどの地形による条件のため事業費が少なくなっている。平成52年度には調査を完了する予定である。」との答弁がありました。

□福祉保健部

ねりんピック推進事業において、大会期間中に売店について質問し、市側からは、「物産協会を中心にいろいろな売店を募集したい。また、がんばらんば国体以上の無料のおもてなしコーナー等を設置したい。」との答弁がありました。

□こども未来部

こども夢基金の今後の見通しについて質問し、市側からは、「平成27年度から福祉医療費の対象者が拡大されることに伴い、基金残高が不足する恐れがあるので、今後、基金のあり方を毎年状況を見ながら検討する必要がある。」との答弁がありました。

□農林水産部

農業施設整備事業において、地元から水路や農道の改修要望が数

平成27年度の主な新規事業

- ◇子ども医療費助成事業…1億3,360万8,000円
現在、未就学児までを対象としている医療費の助成を小学生卒業までに拡大し、平成28年1月診療分から開始。
- ◇高齢者ふれあいバス社会実験事業…2,063万円
高齢者の積極的な社会参加の促進と介護予防の効果を実証するため、市内に住所を有する介護認定を受けていない70歳以上の高齢者に対し、バス運賃の一部を助成。
- ◇東浦地区漁礁・増殖場整備事業…566万2,000円
水産物の安定供給を図るために、堆積物を除去し、魚介類の産卵場所や隠れ場としての漁礁（魚類）及び増殖場（ナマコ）を整備。
- ◇公営住宅等整備事業…1,796万4,000円
「大村市営住宅長寿命化計画」に基づき、老朽化した竹松アパートA・B棟の建替工事を実施。